

北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 14 号 (通巻 No.107)

2001 年 9 月 3 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道南太平洋イカ類分布調査結果

函館水試調査船金星丸により行われたスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：2001年8月27～31日
- ・調査海域：道南太平洋（渡島半島沖～日高沖～津軽海峡）

昨年よりも小型で、分布密度は高い

1. 水温分布 (図 1、2、表 1)

調査海域の表面水温は、20.1～23.4 の範囲にあり、昨年に比べ 2 ほど低い値でした。水深 50m 層の水温を昨年と比べると、道南太平洋 (St.1、St.15) で高く、他海域では低い値を示していました。特に St.15 (浦河沖) では、昨年より 7 高く、14 でした。

2. 分布密度 (図 1、2、表 1)

CPUE (2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は、調査ができた全海域で昨年よりも高く、10.0～104.9 の範囲 (昨年：0.1～20.2) にありました。特に浦河沖では高い値 (104.9) でした。また、全点の平均は 47.1 であり、平成 8 年以降では最も高い値を示しました。

3. スルメイカの大きさ (図 1、2)

スルメイカの外套長 (胴長) は、調査点全体で 17～29cm (昨年 11～28cm) の範囲にありました。モード (ほぼ平均的な大きさ) は、道南太平洋海域では 20cm で昨年より 1cm 小さく、津軽海峡内では 7cm 大きい 22cm でした。

(文責：函館水試資源管理部：Tel (0138) -57-5997 直通)

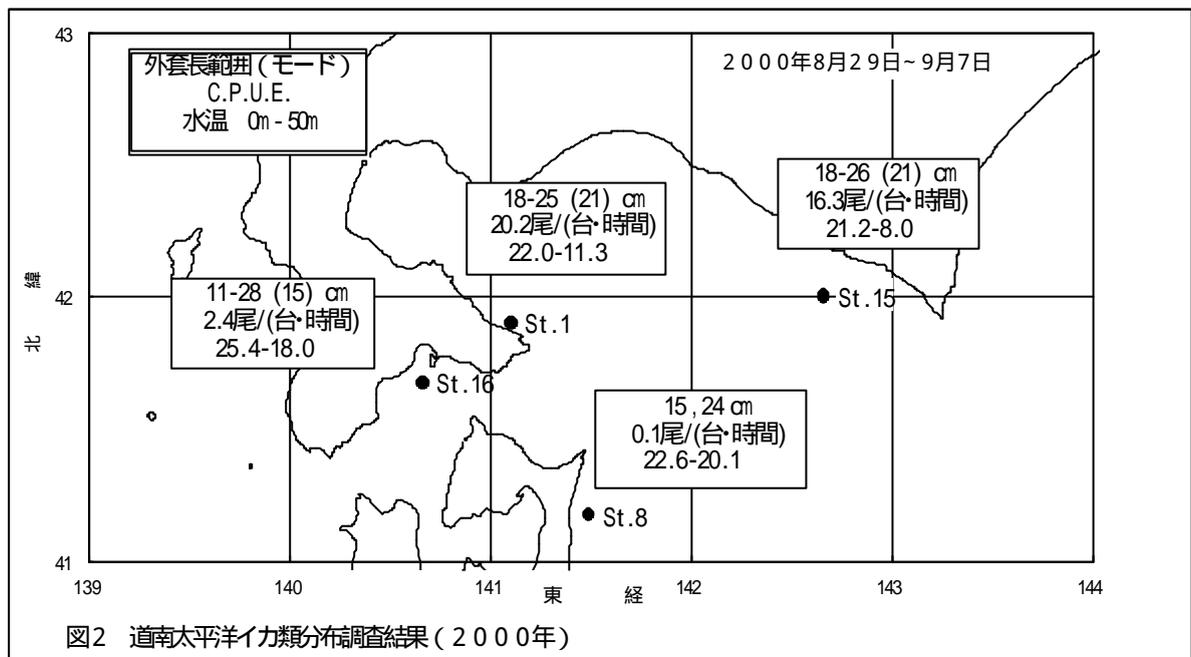
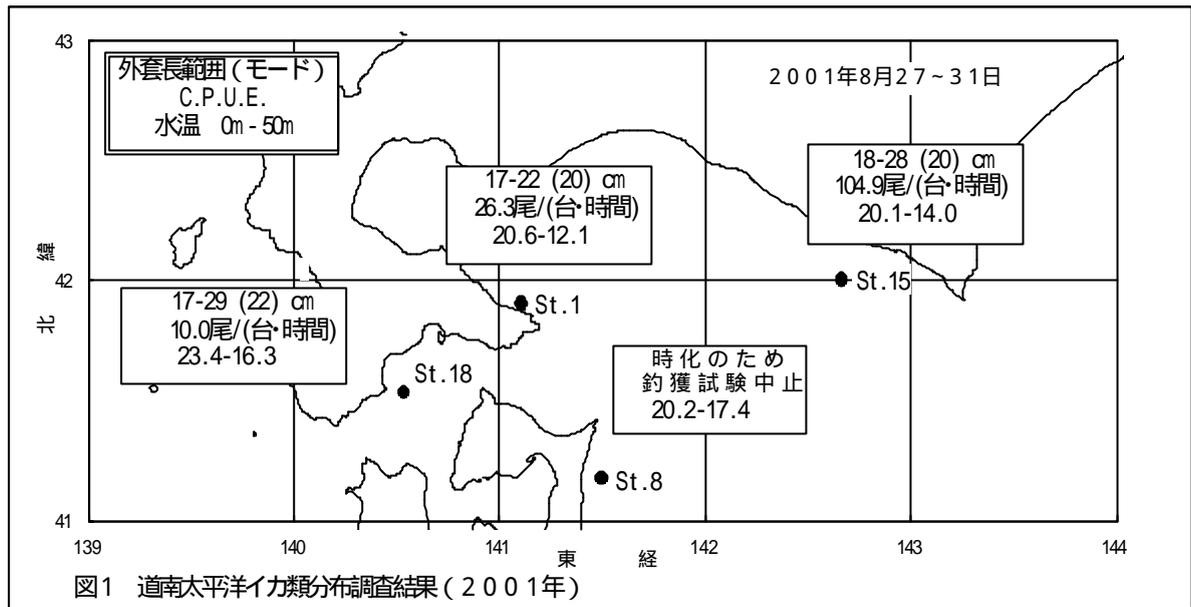


表1 道南太平洋イカ類分布調査時のC P U E と外套長の経年変化

調査を実施した点の	1996(H8)	1997(H9)	1998(H10)	1999(H11)	2000(H12)	2001(H13)
平均CPUE(尾/台・時間)	13.9	17.3	13.6	3.2	9.7	47.1
外套長の範囲(cm)	11-31	12-27	14-28	14-28	11-28	17-29
外套長モードの範囲(cm)	21-23	21-23	18-21	20-22	15-21	20-22
水温() 表層	19.3-21.4	17.7-23.4	19.8-22.3	22.1-25.0	22.0-25.4	20.1-23.4
50m層	9.6-16.3	9.7-18.7	11.6-16.0	10.0-20.2	8.0-20.1	12.1-17.4